

行動力と決断力を生かす

○：三浦市ボランティアが、これから新たなボラ協に語った。会長就任後、連絡協議会第1回定例会がスタートする。歴代の会長の初めての定例会。新たな体制が動き出した。6日、三浦市総合福祉センターで開かれ、年間の事業内容を発表した。「緊張し、自分に言い聞かせるよ年、各々で活動していたボ

人物風土記



●三浦市ボランティア連絡協議会の会長に就任した

大井 ヨシノさん

晴海町在住

ボランティア団体と横の繋がりを築くため誕生した。昨年、加盟団体がどのような活動を行っているか、今年度は20周年を迎え厚生労働大臣感謝状がボラ協に贈られている。加盟は16団体。会長就任に際し、掲げたキヤッチは「明るく、楽しく、無理をせず」。ボランティアは無報酬の活動。ボランティア従事者はなかなか増えない。「気軽に参加してもらえる環境を整えなくては」と改革を決意。「研修など多く設けてきたが、ボランティアをやる人の負担も大きい。1回の研修内容を密にし、回数を減らすことで負担を軽くする」と、環境改善に向けた取り組みをスタートさせた。

○：11月に行われる市民祭りでは、ボラ協でポロシヤツを作成、売上金の一部を東日本大震災の被災地に寄付金をおくる。ボラ協の

情報発信もさらに力を入れ、加盟団体がどのような活動を行っているか、今年度は以上に市民に広くアピールが必要がある」と、積極性を全面に出す。

○：結婚後、横須賀から三浦へ。手話サークル「ともしび」に所属。その他踊りとパッチワークも。ボラ協の会長という重責に加え、3つの活動をこなす。「全て中途半端にはしない」と言い切る。ボランティア活動の魅力は「出会い」と即答。活動を通じて様々な出会いがあった。喜怒哀楽を共有、コミュニケーションを深めることで信頼関係が深まっていくのが喜び。「これから活動を通じて多くの出会いを楽しみたい」と話す。フレキシブルに動ける体制づくりを掲げ取り組んでいく。